しもつま 市議会だより

第215号
平成30年8月10日発行

発行／下妻市議会　発行責任者／議長 原部　司　編集／広報広聴委員会
〒304−8501 下妻市本城町2−22　電話(0296)43−2111㈹ 内線1111・1112

今月号のあんない

定例会……2〜3
下妻市議会議席表……3
一般質問……4〜9
議会日誌……9
永年勤続議員表彰……10

元気いっぱい　友達いっぱい　夢いっぱい

～学校紹介～
【下妻小学校】

下妻小学校は、今年の7月5日で145歳になりました。歴史があり、元気のよいあいさつと笑顔あふれる「下小」を、私たちは誇りに思っています。

下妻小学校では、学校の合言葉「元気いっぱい　友達いっぱい　夢いっぱい」を実現するために集会活動に取り組んでいます。4月には、新入生が早く学校に慣れてもらうための「友達いっぱい集会」。７月には、違う学年の友達と外で元気よく遊ぶ「元気いっぱい集会」。そして３月には、在校生が卒業生に感謝の気持ちを伝える「夢いっぱい集会」があります。どの集会も、企画委員会児童による司会・進行で行われています。

また今年度は、外国語活動に力を入れて取り組んでいます。ALTのブレンドン先生との授業では、たくさんの英語を覚えることができるので、みんなとても楽しみにしています。

（6年　戸ノ岡　悠斗）

こんなことが決まりました

平成30年第1回臨時会

事件の番号	件名	内容	議決月日 結果
報告 第3号	専決処分の報告について「損害賠償について」	道路管理に係る事故による損害賠償金の支払いについて専決処分したもの	5．18 報告
報告 第4号	専決処分の報告について「損害賠償について」	市有車の接触事故による損害賠償金の支払いについて専決処分したもの	5．18 報告
報告 第5号	平成29年度下妻市一般会計繰越明許費繰越計算について	平成30年第1回定例会において、下妻中学校旧校舎解体事業など繰越明許の議決をされた事業について、地方自治法施行令の規定に基づき報告するもの	5．18 報告
報告 第6号	平成29年度下妻市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算について	平成30年第1回定例会において、鬼怒小貝流域下水道建設事業負担金など繰越明許の議決をされた事業について、地方自治法施行令の規定に基づき報告するもの	5．18 報告
報告 第7号	専決処分の承認を求めることについて「下妻市市税条例の一部改正について」	地方税法等の一部改正に伴い、わがまち特例等の固定資産税の特例措置について定めるなど、下妻市市税条例の一部を改正することについて専決処分したもの	5．18 承認
報告 第8号	専決処分の承認を求めることについて「下妻市国民健康保険税条例の一部改正について」	地方税法等の一部改正に伴い、課税限度額において基礎賦課額限度額を引き上げるなど、下妻市国民健康保険税条例の一部を改正することについて専決処分したもの	5．18 承認
議案 第38号	下妻中学校旧校舎解体工事請負契約について	下妻中学校旧校舎解体工事について締結した仮契約を本契約とするため、議会の議決を求めるもの	5．18 原案可決

平成30年第1回臨時会

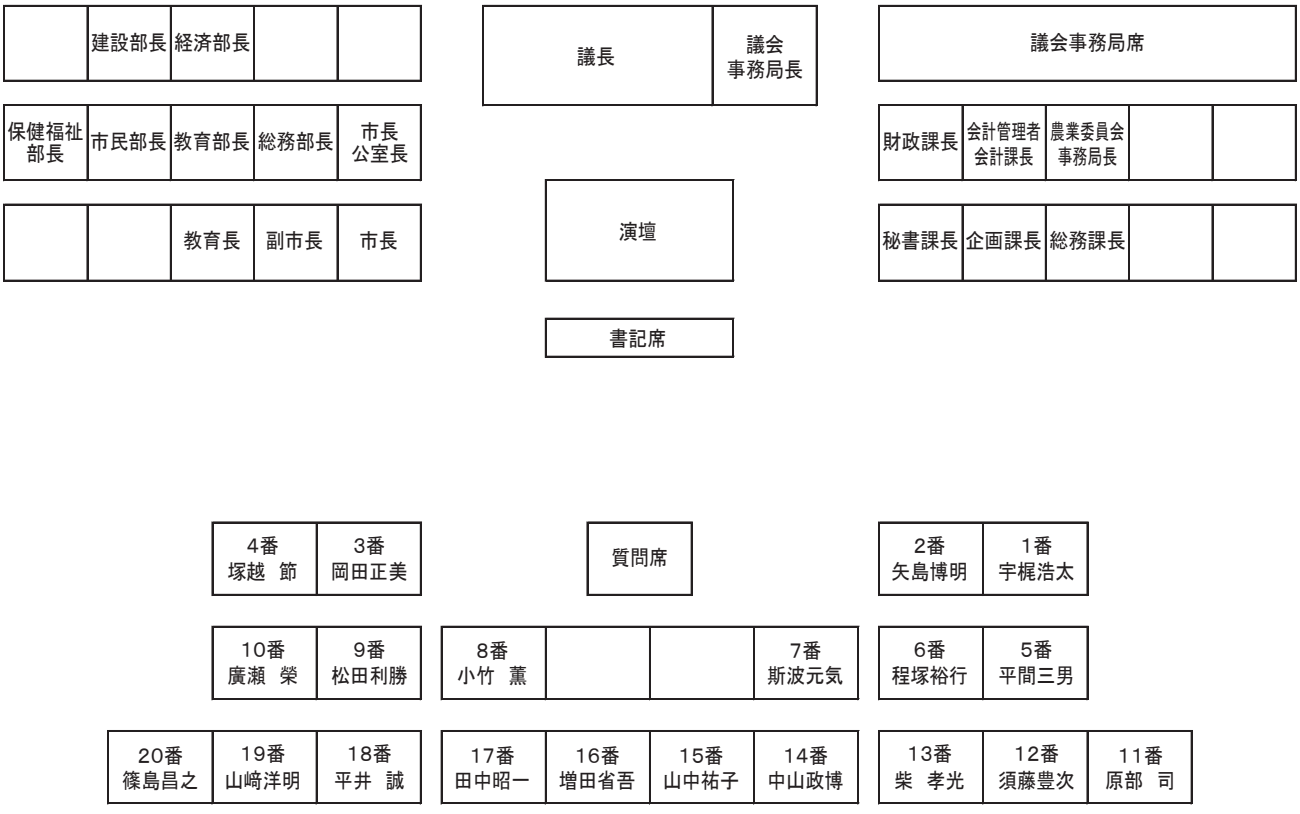
事件の番号	件名	内容	議決月日 結果
議案 第39号	下妻市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	根拠法令が地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律に改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの	6．13 原案可決
議案 第40号	下妻市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について	茨城県医療福祉対策要綱及び茨城県医療福祉対策実施要領の改正により、小児の対象が15歳までから18歳までに引き上げられたことに伴い、同様の改正を行うとともに、所要の改正を行うもの	6．13 原案可決
議案 第41号	下妻市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正により、放課後児童支援員研修の受講資格要件が拡大されたことに伴い、同様の改正を行うもの	6．13 原案可決
議案 第42号	字の区域の変更について	鯨地内における開発行為に伴い、字の区域及び名称の変更をするもの	6．13 原案可決
議案 第43号	市道路線の認定について	大串地内の計画路線1件を新たに市道認定するもの	6．13 原案可決
議案 第44号	土地の処分について	鯨地内開発区域の市有財産売買に係る契約について、議会の議決を求めるもの	6．13 原案可決
議案 第45号	平成30年度下妻市一般会計補正予算（第1号）について	道路改良及び舗装等工事、八間堀川橋梁改修工事負担金の増額等により11億977万3,000円を増額するもの	6．13 原案可決
議案 第46号	平成30年度下妻市水道事業会計補正予算（第1号）について	収益的支出において、水道事業変更届出業務委託及び浄水施設更新基本設計業務委託により2,570万1,000円増額し、資本的支出において、送水管布設工事実施設計業務委託により800万円増額するもの	6．13 原案可決

平成30年第2回定例会・下妻市議会議席表

人　事　議　案			
諮　問 第１号	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて	現委員の飯塚榮子氏が任期満了となることから、引き続き同氏を委員に推薦することについて、議会の意見を求めるもの	６．１３ 同　意
諮　問 第２号	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて	現委員の須藤澄子氏が任期満了となることから、引き続き同氏を委員に推薦することについて、議会の意見を求めるもの	６．１３ 同　意
諮　問 第３号	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて	現委員の横田芳宏氏が任期満了となることから、引き続き同氏を委員に推薦することについて、議会の意見を求めるもの	６．１３ 同　意
諮　問 第４号	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて	現委員の武井守氏が任期満了となり勇退することから、後任の委員として横堀孝徳氏を推薦することについて、議会の意見を求めるもの	６．１３ 同　意

請　　願			
請願受理番号 第１号	主要農作物種子法の復活等をもとめる請願	廃止された主要農作物種子法の復活等を求めるもの	６．１３ 継続審査

下妻市議会議席表（平成30年5月18日現在）



※平成30年第1回臨時会において、上記のとおり議席の番号が一部変更となり、宇梶浩太議員は文教厚生委員会委員に指名されました。

平成三十年第二回定例会
一般質問

今定例会では、９名の議員から市政各般についての一般質問が展開されました。
要旨は、次のとおりです。

一般質問者の氏名・項目は次のとおりです。（通告順）

1　岡田　正美　議員
1　菊池市長の新しい市政運営と予算について
2　特別職の進退問題について
3　介護保険問題について

2　平井　誠　議員
1　菊池市長の見解を問う
2　児童・生徒の登下校時に、一人となった場合の対策について
3　交通弱者対策について
4　ニセ電話、ハガキによるサギ被害を防ぐための取組強化について
5　道路側溝の清掃は、近隣他市のように市の責任で実施する事を求めます

3　山中　祐子　議員
1　市長の政治姿勢について
2　空き家対策について
3　高齢者福祉サービスについて（おむつ券について）
4　残骨灰の対応について

4　塚越　節　議員
1　茨城国体におけるボランティア・宿泊施設に関して、本市の受け入れ体制の現状について
2　防災減災対策について

5　宇梶　浩太　議員
1　愛宕下水路（下妻駅東口）の集中豪雨時の排水対策について

6　斯波　元気　議員
1　市長の政策について
2　利用者向け公共施設データ一覧

7　程塚　裕行　議員
1　地域公共交通対策について

8　平間　三男　議員
1　市政運営について
2　行政の連携について

9　矢島　博明　議員
1　選挙中の広報および施政方針の内容について
2　小中学校の給食提供について
3　農作物のブランド化について

一般質問とは

・議員が市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について聞き、あるいは報告、説明を求め、また疑問を質すことをいいます。
・本市議会では、通告制を採用しており、あらかじめ議長に発言の要旨を記載した発言通告書を提出が必要です。
・「一括方式」と「一問一答方式」のどちらかを議員が選択し、質問時間は40分（答弁を含まず）とし、質問回数は、再々質問まで（３回）としています。
なお、現在は試行期間中で、今後、よりよい一般質問の展開となるよう研究しています。

岡田正美 議員
【一括方式】

特別職の進退問題について

質問　地方自治法では副市長を置く根拠が定められており、市の事務決裁規定では、副市長は300万円未満までの執行権限を持つ。

去る3月の市長選で、市民の選択は新しい体制の選択をしたが、前市長から指名を受け、議会の同意を得た副市長が今も続いている。指名した人が変わったのであるから、議会の同意はその時点のことであり、その指名根拠は喪失したと考える。2カ月以上過ぎても、その職にとどまっているのはどのような考えなのか、その理由を伺う。

答弁　平成29年第1回定例会において、前市長から選任を受け、市議会の同意を得て1年2か月が経過した。今般、新市長が誕生し、初登庁直後から、今後の市政運営について副市長の職務としての指示を受けていることから、残任期間を考え合わせ、進退の伺いをすることなく、副市長に専念しているところである。

過日、市長との協議の中で、砂沼サンビーチやビアスパークしもつまなどの重要課題について、解決する決意を聞き、他の課題も含めて、取り組ませていただく所存である。新市長は、施政方針にあるように市民並びに議員をはじめ、企業・個人などの民間活力を結集したオール下妻体制により、持続可能なまちづくりを推進するという、大きな目標を掲げており、職員の協力を得ながら、新市政がスムーズに運営できるよう、全力を傾けていく考えである。

平井　誠 議員
【一括方式】

菊池市長の見解を問う

質問　菊池市長の選挙公約に「社会的弱者に寄り添い、また、子どもからお年寄りまで全ての市民が下妻に住んで良かったと思える市政、全ての市民の目が輝く市政の実施を目指していきます」とある。

そこで、国保税や水道料金、公共施設の使用料や公的文書の交付手数料などの、市民負担の引き上げはこれからの4年間に極力行わないよう求める。

さらに、本市では、場外車券売り場設置計画が28年間に7回あった。その度に計画は断念されてきたが、今後の新たな計画について、市長の反対表明を求める。

答弁　税や公共料金は、その事業を推進するための貴重な財源として、また、受益者負担の原則に基づく公平な負担金として、適切な負担をいただいている。これらは、市民生活に密接に関わっていることから、その額の設定は、事業に係る経費と負担のバランスのほか、社会制度や他市町村の動向を考慮し、十分な検討を経て行うべきものと認識している。今後4年間においては、消費税増税と国政レベルの社会制度の見直しが行われる見込みであるが、これを除き、極力、市民負担が増加しないよう、慎重に判断していく考えである。

場外車券売り場計画などが今後出された場合、子どもたちや市民生活に悪影響を及ぼすものと判断される際には、明確に反対の意思を示していく。しかしながら、具体的な事案がない中での判断を現時点で行うことは出来ないものと考えている。

市民負担が増加しないような税や公共料金の設定が求められている

山中祐子　議員
【一括方式】

高齢者福祉サービスについて（おむつ券について）

質問

家族介護用品購入費助成券、いわゆるおむつ券と呼ばれている助成の利用者数とその購入品目について伺う。現在の購入品目にある体を拭く洗浄液は、寝たきりの場合、入浴サービスを受けることが多く使わず、代わりに、おむつ替えで使う、使い捨て手袋やおしり拭き等を入れて欲しいなどの声があり、現状にそぐわないという意見がある。下妻市独自の助成であることから、使い勝手のよいものに見直しできないか伺う。

答弁

家族介護用品購入費助成券は、寝たきり又は認知症の状態にある方で、おむつ等の介護用品を使用しなければならない状況にある方を介護している家族に対し、経済的負担を軽減するために交付している。助成券は薬局やホームセンターなどで利用することができ、助成額は1人当たり年間4万8千円で、平成29年度は合計194人の利用がされている。

助成券で購入できる品目は、紙おむつ、尿とりパット、リハビリパンツ、清拭剤、ドライシャンプーの5品目で、寝たきりなどの介護用品で利用頻度が高いものを国の実施要綱に基づき選定したもので、近隣市町村の品目とほぼ同様となっている。それ以外については、介護時に使用するものであっても他の目的に代用されることが懸念されるため、現在は購入対象品目に含めていない。品目の見直しについては、本事業の目的に沿うものとして再調査し、使い勝手のよい品目として見直しを進めていきたいと考えている。

介護用品購入費助成券

塚越　節　議員
【一問一答方式】

茨城国体におけるボランティア・宿泊施設に関して、本市の受け入れ体制の現状について

質問

本市での国体開催はたった3日間ではあるが、共通認識の意味を込め、ボランティアの業務と必要人数及び宿泊する選手・役員・サポーターの人数とその宿泊施設について伺う。

また、宿泊施設の確保として、民泊やビアスパークしもつまをキャンプテント村として活用する可能性についても伺う。

答弁

ボランティア業務は、交通案内・環境美化・会場サービスを想定しており、今年開催されるリハーサル大会では60人、来年の本大会では100人を想定している。

現時点での宿泊は、選手・監督、競技役員の590人で、観客は1チーム当たり20人を想定し、茨城県チームを除いた24チーム、約480人である。ピーク時には県全体で約1万7千人の宿泊需要があると見込まれ、県内の宿泊施設は偏在していることから、委託業者が宿泊先を調整する合同配宿方式が採用される見込みである。本市で行われるソフトボール競技の選手及び監督の宿泊は、つくば市内の見込みで、ビアスパークは、競技役員等の宿泊先となる。

民泊については、許認可に関する業務などのハードルが非常に高く、実施は予定していない。また、ビアスパークをキャンプ村として利用するには施設の用途変更に係る国や県との協議、快適に宿泊できる環境を提供するための照明や害虫対策などの課題があるが、国体事業とは別に、今後の活用方策の一つとして検討の余地はあると考える。

競技役員等が宿泊するビアスパークしもつま

宇梶浩太 議員
【一括方式】

愛宕下水路（下妻駅東口）の集中豪雨時の排水対策について

質問

下妻駅東の信号交差点付近では、集中豪雨時に度々浸水が発生している。短時間で水は引くとはいえ、地元住民にとっては年間を通して土嚢を用意するなど深刻な問題である。そこで、今まで実施した愛宕下水路の浸水対策工事の効果を伺う。

また、被害を最小限にとどめるための監視体制について伺う。

答弁

愛宕都市下水路は、西町を起点として本宿町、本城町を経て糸繰川へ接続する都市下水路で、昭和48年から62年にかけて整備された。近年は都市化、宅地化により短時間に流れ込む水量の増加、局地的な集中豪雨による計画流量以上の雨水が一気に流れ込み、地盤高の比較的低い下妻駅東側の市道において、冠水被害が見受けられる状況がある。対策として、平成21年度に本城町地内のＪＡ常総ひかり県西会館前の市道の側溝断面拡幅工事で、排水機能の向上を図り、平成29年度には下妻郵便局南側の合流部改修工事で、流れを阻害する要因となっていた合流部の機能改善を実施した。また、これまで流入していた県道谷和原筑西線の排水量の軽減を県に要望し、今年度から排水管路整備工事が実施される見込みとなり、当該地区の冠水被害の軽減が期待される。

浸水の監視体制は、職員が巡視し、対策が必要となった時には、速やかにバリケードを設置し、通行止め等の措置をしている。今後も工事等や巡視等の対策により冠水被害の軽減を図っていく。

台風の影響で冠水した下妻駅東口付近の市道

斯波元気 議員
【一問一答方式】

市長の政策について

質問

砂沼サンビーチは一般会計から繰入をせざるを得ない状況で、財政負担が危惧されている。反面、観光の目玉であり、市民からも存続を願う声の多い施設で、今後のあり方については意見の分かれるところである。最大の問題点は施設の老朽化で、小規模修繕を行い、使い続けてきた。閉鎖に向けてのソフトランディング、これが前市長時代の選択であり、県及び県開発公社との交渉は進展しなかった。市長交代により、交渉が進展することを期待し、また、民間委託について提案することについて伺う。

次に、Wa-iwa-iドームしもつまは、現在多数のイベントが開催され、市民協働のまちづくり政策に大きく貢献する施設へと成長しているが、周辺への人の流れをつくり出す機能は十分に発揮されているのか伺う。

答弁

砂沼サンビーチの今後については、議員をはじめ、関係機関と調整を図り、今年度で方向性を打ち出していく。その中で、県との具体的な協議を進めるとともに、県による民間委託が可能かどうかを含めた県の意向を確認していきたいと考えている。

Wa-iwa-iドームしもつまは、観光交流センターとあわせて新たな交流人口が発生し、しもんチャリ等によって、まちなかの人の流れが変わってきている。この流れを確かなものとするため、国土交通省及び内閣府から選定された地方創生モデル都市の事業を推進し、下妻駅周辺エリアの魅力向上と市街地の活性化を図っていく。

多くの来場者で賑わう砂沼サンビーチ

程塚裕行 議員
【一括方式】

地域公共交通対策について

質問　公共交通施策は市長の公約の一つでもあり、市民の大きな期待でもある。本市の運転免許証の自主返納は、平成28年が45件、29年が78件と増加し、運転免許のない高齢者や障害者にとって交通対策の充実がますます重要となってきている。そこで、交通難民対策について、どう考えているのか伺う。

次に、現在のシモンちゃんバスの運行は一路線である。この路線以外の多くの方は不便をきたしている。運行経路の増設やデマンド型乗合タクシー、タクシー券助成の拡充など、他の対策を含め見解を伺う。

答弁　公共交通対策に対する要望は、都市整備の分野で最も高いものとなっている。下妻市地域公共交通活性化協議会の中に研究会を設置し、議論を開始したところである。今後、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシー、高齢者福祉タクシー利用料金助成などとの比較検討を行い、利用ニーズや総合的な経済的評価を行うとともに、広域連携などを含む新たな地域公共交通システムの実証実験なども視野に入れた検討を行い、スピード感をもって本年度中に方向性を決めていきたいと考えている。

また、シモンちゃんバスのアンケート調査等では、10代の利用者も多くみられ、バスの認知度と乗客満足度は高いが、乗車度は低いことが判明した。改善策として、時刻表の調整・ターゲットを絞ったＰＲ活動を実施する。今後、ルートの延長や変更も視野に入れた検討を進めていく。

他市町村で運行しているデマンドタクシー

平間三男 議員
【一括方式】

市政運営について

質問　本市には、少子化、高齢化をはじめ、財政健全化など待ったなしの問題・課題が山積みしている。これらの解決に向け、新市長は、連携・スピード化・見える化の3つのキーワードを掲げ、下妻市の発展、下妻市民の福祉向上に全力で取り組む姿勢と覚悟を明言している。

そこで、市長公約の中の具体的施策に市長直轄未来戦略会議の創設がある。この会議の目的、構成、位置づけ、行政にどのように反映させるのか伺う。

さらに、本市ではこれからのまちづくりの長期ビジョンを示す第6次総合計画が策定されている。この計画との整合性についても伺う。

答弁　公約に掲げた未来戦略会議については、現在、設立に向けた準備作業を進めているところである。この戦略会議のイメージは、本市のまちづくりに関する施策などについて、市長の要請に応じて審議するとともに、知恵やアドバイスをする機関としての位置づけを想定している。会議のメンバーについては、民間企業に例えると社内取締役のようなイメージを想定しており、学識経験者や本市出身で活躍されている市内外在住の有識者など数名程度による構成を考えている。本市のイメージなどを伺うことにより、これまで気付かなかった課題や魅力を再発見し、本市のまちづくりに繋げていきたいと考えている。この会議については、名称も含め、詳細が決まり次第、報告するものである。

設立に向けて準備が進められている未来戦略会議

矢島博明 議員
【一問一答方式】

小中学校の給食提供について

質問

合併から13年が経過しているが、給食費やセンター方式、自校方式といった大きな差があり、また、旧下妻市地区には、月曜日に米飯を持参する米飯弁当というものがある。このような差を統一し、米飯弁当を廃止し、平等の給食にすべきと考える。

また、東部中・下妻中を新設する時点で、自校方式を選択した経緯を伺うとともに、今後の給食提供の方針について伺う。

答弁

小中学校の給食は、合併前の方式で提供しており、給食費もそれぞれの方式で相違がある。米飯弁当は、米の消費拡大などを目的に導入された。しかしながら、今般、外国人の児童生徒の増加や食生活の変化により米飯を持参できない状況もあることから、米飯弁当の見直しも考えている。

東部中建設時は、自校方式を特色としてきた経緯から、自校方式を継続採用した。下妻中は、給食センター建設も検討したが、財政的にも難しいこと、児童生徒数の減少で、稼働率が下がることが想定されることから規模設定が難しく、親子式の検討を行った。これは、下妻中の給食室を大きめに建築し、小規模校数校分の給食を作り、配送を行うものであるが、結論には至らず、現在の自校方式となった。

自校方式の小規模校は、児童生徒の減少を考えるとコスト問題・設備投資等の課題もあることから、センター委託も視野に入れ検討していく。センター方式の学校は、今後も継続しながら、市全体の方式とあわせて検討していく。

下妻中学校の給食室

議会日誌

◆5月

18日　議会運営委員会
　　第1回臨時会
　　庁舎等建設に関する調査特別委員会
29日　議会運営委員会
30日　全国市議会議長会定期総会
31日～6月13日　第2回下妻市議会定例会
31日　本会議　議案上程、説明

◆6月

1日　本会議　議案質疑
　　総務委員会
4日　文教厚生委員会
5日　経済建設委員会
6日　予算特別委員会
　　庁舎等建設に関する調査特別委員会
8日　本会議　一般質問

◆7月

4日～6日　総務委員会行政視察（北海道旭川市・北広島市）
11日～13日　文教厚生委員会（青森県弘前市・五所川原市）
12日～13日　茨城県市議会議長会視察研修会（福島県郡山市）
17日～19日　経済建設委員会行政視察（長崎県諫早市・雲仙市）
20日　月例会
　　第2回広報広聴委員会
　　庁舎等建設に関する調査特別委員会
25日　茨城西南地方広域市町村圏事務組合議会臨時会
30日　茨城県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会

永年勤続議員表彰

平成30年度の全国市議会議長会定期総会及び茨城県市議会議長会定例会において、議員活動を通じて、永年地方自治の発展と市政の振興に貢献された功績により、次の方々が表彰されました。

（敬称略）

◇全国市議会議長会
◇茨城県市議会議長会
○30年以上勤続
山崎　洋明
平井　誠
○15年以上勤続
田中　昭一
柴　孝光

○正副議長4年以上勤続
須藤　豊次
◇全国市議会議長会
○10年以上勤続
廣瀬　榮
斯波　元気

Eボート大会出場

第22回鬼怒川流域交流Eボート大会茨城県大会が5月20日行われ、下妻市議会チームが参加しました。チームワークを発揮し、健闘するも、決勝進出とはなりませんでしたが、水上はとても爽快で楽しいものでした。

また、「いきいき茨城ゆめ国体デモンストレーションスポーツ開催記念大会」として、競技自体を楽しんでいる様子もうかがえ、充実感を得た一日となりました。

次回第3回定例会予定

月　日	曜日	日　程
9月 5日	水	**本　会　議** 開　　会 （会期の決定・諸報告・議案上程、説明）
9月 6日	木	**本　会　議**（議案質疑） 常任委員会（総務委員会）
9月 7日	金	休　会 常任委員会（文教厚生委員会）
9月10日	月	休　会 常任委員会（経済建設委員会）
9月11日	火	休　会 予算特別委員会（補正予算） 決算特別委員会
9月12日	水	休　会 決算特別委員会
9月13日	木	休　会 決算特別委員会
9月18日	火	**本　会　議**（一般質問）
9月19日	水	**本　会　議**（一般質問）
9月21日	金	**本　会　議** （議案及び請願・陳情に対する委員長報告 質疑・討論・採決） 閉　　会

※日程は都合により変更になる場合があります。

議会を傍聴しませんか

市議会では皆様の傍聴をお待ちしています。

傍聴は、市議会活動に触れる良い機会です。自分が選んだ議員の活動や市政の方針などを知ることができます。

傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎３階議場までお越しいただき、傍聴受付にて受付票に必要事項を記入し、所定の投函箱へお入れください。

平成30年第２回定例会では、全日程を通じて71名の方の傍聴がありました。次回定例会も多くの方の傍聴をお待ちしております。

また、本会議開催中は、本庁舎１階市民ホールのモニターで中継を行っています。

次回の市議会だよりの発行は11月10日（土）の予定です。

議会だよりへのご意見などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

問合せ先
議会事務局 (0296)43−2111（内線 1111・1112）

みんなで応援しよう!!

編集後記

今号から表紙の写真については、市内各中学校の部活動紹介から、市内各小学校の学校紹介となります。

第一弾としまして、今号は下妻小学校の学校紹介となります。次号以降、順次各小学校を紹介して参りますのでご期待ください。

また、7月には各常任委員会の行政視察が行われました。詳細は次号より順次ご報告させていただきます。